

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

名称：それいゆ保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：近藤 啓太	定員（利用人数）： 25 名	
所在地：〒215-0001 川崎市麻生区細山1203番地		
TEL：044-959-3003	ホームページ：https://www.misasakai.or.jp	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2015年7月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人三條会		
職員数	常勤職員： 11名 非常勤職員： 5名	
専門職員	（専門職の名称） 名 保育補助 1名	
	保育士 14名	
	看護師 1名	
施設・設備の概要	（居室数） 4 （設備等） 保育室、調乳室、保育園事務室、テラス	

③ 理念・基本方針

☆保育理念

児童福祉法の理念に基づき、児童の最善の利益を考慮し、養護と教育の一体的な機能を果たしながら豊かな人間性をもった心身ともに健やかな児童を育成します。

☆保育目標

- 自然の中でのびのび遊べる子ども
- 友だちや保育者と過ごす事が好きな子ども
- よく見、よく聞く子ども
- 心豊かで自分を表現できる子ども

☆保育方針

- 子ども一人ひとりの個性・発達を大切にしたい保育を進めていきます
- 少人数の良さを活かした保育をすすめていきます
- 年間を通じ薄着・また素足保育をおこない、健康な身体づくりをおこないます
- 保育の中に散歩を多く取り入れ、子どもたちが楽しみながら人や自然と関わる力や、また集団 行動のマナーを身につけられるようにします。
- 食事は、季節感のあるバランスの良い献立・安全な食材を心掛け、栄養士、調理員が心を込めてつくります
- 保護者と職員が、子どもの成長や喜びを共有できるよう家庭と保育園が連携していきます
- 地域社会との連携を大切に、子ども達がお近所の方や近隣の保育施設などと積極的に交流できるよう保育をすすめていきます。さらに、子育て中のお父さん、お母さん達にもお役に立てるよう、育児講座、遊ぼう会などもおこなっていきます

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・事業所内保育所として、併設施設である重症心身障害児者施設CAMPソレイユ川崎の従業員の皆様を預かるとともに、地域にて保育が必要な児童の保育を行っています。
- ・2歳児までの保育園となっており、3歳児以降は連携保育園へのご案内を行っています。
- ・敷地内の広場には自然が広がっており、子どもたちは毎日散歩をして、虫や草花などの自然に触れながら過ごしています。令和3年度には、「ぼうけんのもり」という区画を整理し、子どもたちが山、森の中で遊べるような空間もあります。
- ・重度の障がいや医療的ケアが必要なお子様も可能な限りお預かりいたします。どの子も一緒に過ごすことで、お互いの存在を認め合うことを目的に統合保育に取り組んでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年7月25日（契約日）～ 2023年3月28日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（平成31年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

特長

職員の研修機会が充実している

職員一人ひとりに向けて、学びたい知識や技術について、年度初めに確認をし、その意向に沿った研修を案内できるように取り組んでいる。また、施設内研修では、感染症、救命救急などの基本的な研修以外にも、医療的ケアが必要となる園児を預かる上での具体的な医療的ケア、障害への理解、子どもの人権に関する研修等も実施し理解を深めることができるようにしている。

子ども一人ひとりの個性と発達を大切にし、少人数の良さを活かした保育をすすめている

施設内は広く、森や野原などの自然に恵まれた環境があり、子どもたちが毎日の散歩や遊びを通して、自然に触れ、積極的に身体を動かしたり、遊び方を工夫したり、社会的なルールを覚えたりできるように援助をしている。また、重度の障がいや医療的ケアが必要な子どもの受け入れを行っており、どの子も一緒に過ごすことで、お互いの存在を認め合うことを目的に統合保育に取り組んでいる。子どもの個性と発達を大切にし、一人ひとりと丁寧に関わることを大切にしながら保育をすすめている。

今後期待される点

コロナ禍での保護者支援について

保護者からの相談や意見をいつでも受け付けていることを、入園説明会、園だより、クラス懇談会などで周知しており、相談や意見がある時は速やかに面談の場を設けるようにしている。しかしながら、コロナ禍となり、園児の受け渡しが玄関になったことで、時間をとって話すことができていない現状がある。今後、意見箱の設置や発達支援コーディネーターによる相談会の実施などを検討している。

保育室の環境整備について継続的な課題としている

安全管理点検表を使用し、各クラスの当番職員が保育園内外の点検と確認を毎日実施し、玩具や用具、寝具の衛生管理にも努めている。

保育室によっては湿度管理が難しい場合があること、コロナ禍での食事や睡眠時のソーシャルディスタンスに配慮したスペースの確保については、継続的な課題としている。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

保育園としての事業計画や保育理念を如何に職員に周知し、
どうやって明確なビジョンをもって保育をしていくかということ
を考えるきっかけとなりました。
また、保育園の職員にとっても日頃の保育を省察し、
言語化していくことで、
新たな気づきとなったと感じております。
今後、受審の結果をもとに、
また職員と保育を振り返るきっかけとし、
子どもたち、保護者の皆様にとって、
「ここに来てよかった」と言ってもらえるような保育園づくりに、
より一層努めてまいりたいと考えております。
この度は誠にありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり